



長門の話題 Topics

油谷こどもミュージカル第12回定期公演

感動の舞台を作り上げる

12月1日(日)、ラポールゆやで油谷こどもミュージカルの第12回定期公演「桃や姫物語」が行われました。油谷こどもミュージカルは、平成14年度に発足し、毎年公演を行っています。

物語は主人公の桃が、両親の代わりに育ててくれたおじいさんとおばあさんが遠くに

行ってしまう、行かなければ鬼になる、ということ聞き、鬼の住む島に鬼が人間になれる宝物を探しに行くストーリー。小学生から高校生までの約30人と老人役などの大人3人が出演しました。子どもたちは、体全体で表現し、歌って、踊って観客を魅了していました。



▲主役の桃(右)に友達が語りかける

▼みんなで息を合わせて踊る



俵山地区と向津具地区で「新しい公共交通」

交通の不便を「協働」でカバー

12月上旬、県内で初となる「新しい公共交通」の運行が俵山地区と向津具地区で始まりました。

これは、公共交通不便地域である両地区で運行されるものです。電話での予約に応じるデマンド方式により、利用者の自宅近くから主要な施設や地区外へ出かけるための路

線バスに結節するよう、NPO法人が自家用自動車で過疎地有償運送を行います。

俵山地区では9日(月)、向津具地区では翌10日(火)に運行を開始しました。

俵山地区では、予約のあった利用者2人を乗せ、行き先である俵山郵便局まで運行しました。



▲俵山地区での出発式の様子

▼向津具地区でも初日は3人の利用があった



平成25年度 長門市表彰

地域社会の発展や、福祉向上に貢献

長門市では、長門市表彰条例に基づき地域社会の発展と住民福祉の向上に貢献した個人または団体を、毎年表彰しています。

平成25年度の受賞者は、自治行政・文化・社会福祉・社会活動・保健衛生・産業振興・寄附の部門で功績のあった8人と4団体です。11月18日(月)、長門市物産観光センターで行われた表彰式で、大西市長から表彰状と記念品が贈られました。

表彰者(敬称略)

自治功労

◎多年自治会長として自治活動に尽くされた功績
大田 馨 (仙崎白湯2区)

文化功労

◎多年文化の振興に尽くされた功績
大谷 喜信 (三隅下沢江)
◎多年民俗芸能の伝承に尽くされた功績
田金 哲夫 (西深川下川西区)

社会福祉功労

◎多年社会福祉活動に尽くされた功績
点訳ひまわりの会
◎多年社会福祉活動に尽くされた功績
発達障がいを考える会 ブルースター

社会活動功労

◎多年社会活動に尽くされた功績
中谷 貞女 (仙崎洲崎町区)
◎多年消防団の育成と防火思想の普及向上に尽くされた功績
三村 隆信 (油谷後畑東立石)

保健衛生功労

◎多年医師として地域医療の発展に尽くされた功績
齋藤 弘 (深川湯本板持4区)
◎多年医師として地域医療の発展に尽くされた功績
青木 宣治 (東深川中山区)

産業振興功労

◎多年畜産の発展に尽くされた功績
元永 博次 (油谷向津具上白木)
◎多年農業の振興に尽くされた功績
農事組合法人 アグリティック 俵山

寄附功労

◎市内中学生を対象とした人材育成事業に300万円を寄付された功績
長門ライオンズクラブ



紫白綬有功章受章を大西市長に報告

牛肉産地形成と地域に尽力

12月9日(月)、農事功績表彰で紫白綬有功章を受章した元永素さんが大西市長を表彰訪問しました。

今回の受章は、元永さんが肉用牛の産地形成に大きく貢献し、地域社会世話役としても尽力したことなどが評価され、表彰となりました。

▼平成15年にも緑白綬有功章を受章



第13回長門子ども俳句大会表彰式

俳句を通じて言葉に触れる

11月24日(日)、長門市物産観光センターで第13回長門子ども俳句大会の表彰式が行われました。

この大会には、市内の幼稚園や保育園、小・中学校から1,903句の応募があり、その中から特選に選ばれた14人が表彰されました。



長門のPeople

市長門

二十歳を迎えた長門市内421人を祝う成人式が、1月3日(金)にルネッサながとで開催されます。
成人式を前に、高校を卒業後、長門市消防本部に勤め、市民の安心・安全を守る西田さんに「二十歳の誓い」を語ってもらいました。

長門市消防本部

西田健一郎さん(20)

感謝の気持ちを持って
生きがいを金うする

家族の死を乗り越え成長
二十歳になった今、まず頭に浮かぶ言葉は「感謝」という言葉です。成人式という節目を迎えることができたのは、20年間支えてくれた数多くの人のおかげだと感じています。
小学校一年生の時に、祖父と父を相次いで亡くしました。その時、そばで支えてくれたのが家族でした。そして、友人や恩師、地域の人など数えきれないほど多くの人に支えられ、今日を迎えることができました。

消防士としては、目の前の仕事をこなすのが精いっぱいなの状況です。二十歳になり、社会的にも責任は増えますが、職場においても後輩ができ、指導していかねばなりません。
「大人の責任」と軽々しく口にするのではなく、「責任はとるものではなく果たすもの」と重く受け止め、進むべき道を一歩一歩、進んでいきたいと思っています。
どんなときも前を向く
これから、様々な困難が待ち受けているかもしれませんが、しかし、どんな状況であろうとも前を向き、やり抜くことできる大人になりたいです。

半人前の消防士

恩返しを
今まで支えてくれた人に少しでも恩返しをするためには、自分と同じ経験をしてほしくないという思いで目指した消防の仕事を手を金うすることで、家族や友人に安心してもらい、さらにこの仕事を通じて市民を全力で守ることだと考えています。



「家庭の日」フォトコンテスト・よいこと表彰
12月7日(土)、長門市教育委員会別棟で、第6回「家庭の日」フォトコンテストと平成25年度「よいこと表彰」表彰式が行われました。
「家庭の日」フォトコンテストでは、「みそ作り」を撮影した、浅田小4年の中野さくらさんが昨年に続いて最優秀賞を受賞しました。
「よいこと表彰」では、登校中に困っている人を助けたり、脱輪した車を助けた1団体、9個人が表彰されました。

公園と発電所がコラボ
12月12日(木)、ながとスポーツ公園発電所が稼働を始めた。この発電所は、東深川滝ノ下に計画中のながとスポーツ公園内にできたメガソーラーの発電所で、広さは25,000㎡、9,156枚のソーラーパネルによって発電を行うものです。
▼長門市が発電業者に土地を貸与



▲ふるさとをなんとかしたいという思いが祭りを盛り上げる

集落機能再生を目指して
第1回宇津賀ふるさとまつり
11月24日(日)、旧文洋小学校周辺を会場に「第1回宇津賀ふるさとまつり」が開催されました。今年から長門市集落機能再生事業の一環としての開催となりました。
この日は朝から天候に恵まれ、やきとり、うどん、ちらし寿司、たこ焼きなどのバザーが行われました。また、市職員によるぜんざいの販売や恒例の「のり」のつかみ取りも行われました。
舞台では、銭太鼓グループによる演奏や日本舞踊、カラオケ、警察による「オレオレ詐欺」被害防止講演などが行われました。

この日の報道を独占！
コウノトリがやってきた！
12月4日(水)、境川区の溝部哲也さんが、境川付近の田んぼで羽を休める8羽の鳥を見ました。
兵庫県立コウノトリの郷公園に問い合わせたところ、これら8羽のうち5羽が同公園から放鳥されたものと確認されました。
▼「みほと」(左)と「あさひ」(右)の2羽

